



世界一クリーンなフェス

情報サービス部 中西 淳美
NAKANISHI ATSUMI

今年もこの時期がやってきた…フジロックフェスティバルだ!フジ、とついているが富士山の麓で開催されたことは1回しかないらしく、現在は新潟の苗場で開催されている。

このフェスの何が好きかというと、大自然の中で音楽を楽しめることだ。むしろ音楽を楽しむにきているのか、川遊びに来ているのか、山登りにきているのかわからなくなる程、自然に触れることができる。そしてこのフェスのもうひとつの特徴は、《世界一クリーンなフェス》と呼ばれていることだ。入場ゲートを通ると大きなゴミ袋が配られ、自分の出したゴミには責任を持つ、と再認識させられる。ごはんのエリアではゴミを細かく分別し、分別に迷っているとスタッ

フが誘導してくれる。ここから出た廃棄物はトイレトペーパーなどにリサイクルされ、翌年のフジロックで使われるそうだ。

正直、現職に就くまでは静脈産業を意識することはほとんど無かったが、今年のフジロックは廃棄物リサイクルという面にも目が行き、改めて魅力的なフェスだと感じた。

まだまだ出来ることは少ないが、私もこの仕事を通じて自然と共存できる社会づくりの一端を担えたらと思う。そしてこれからも自然と音楽を楽しむ幸せを毎年感じていきたい。



編集後記

前号に引き続き、電子マニフェストシステムに収集される膨大なデータの有効な活用方法を検討するために、座談会「電子マニフェストの明日を語る」を開催しました。今号は製造業界に携わっている排出事業者、処理業者の方々にお集まりいただきましたので、その模様をお伝えいたします。業界ならではの視点でご意見をいただきましたので、ご覧ください。

また、「行政のうごき」では、山形県より廃棄物行政の取り組みを紹介しております。「産廃クローズアップ」では、感染性廃棄物

容器の再利用システムを運用開始した(株)日本シューター、そのシステムを導入した(一財)神奈川県警友会けいゆう病院に取材した内容を掲載しております。

ご多忙の中、記事をお寄せいただいた執筆者の皆様、取材や編集にご協力いただいた皆様、本誌を読んでくださった読者の皆様に心から感謝申し上げます。

(菅野)

■本誌に関する連絡先:総務広報室(e-mail:jigyo@jwnet.or.jp)

〈アンケートへのご協力のおお願い〉

より充実した誌面作りのために、本誌の記事内容等に関する読者アンケートを当センターホームページ(以下のURL)に掲載しています。本誌に関するご意見。ご要望を是非、お聞かせください。

URL <http://www.jwnet.or.jp/publish/kikansi/index.html>

JWセンター情報(季刊)VOL.18 NO.3 発行日:2018年10月15日発行 発行人:関 荘一郎

発行所:公益財団法人 日本産業廃棄物処理振興センター

〒102-0084 東京都千代田区二番町3番地 麹町スクエア7階

TEL:03-5275-7111 FAX:03-5275-7112 <http://www.jwnet.or.jp/>

デザイン・印刷:株式会社文洋社